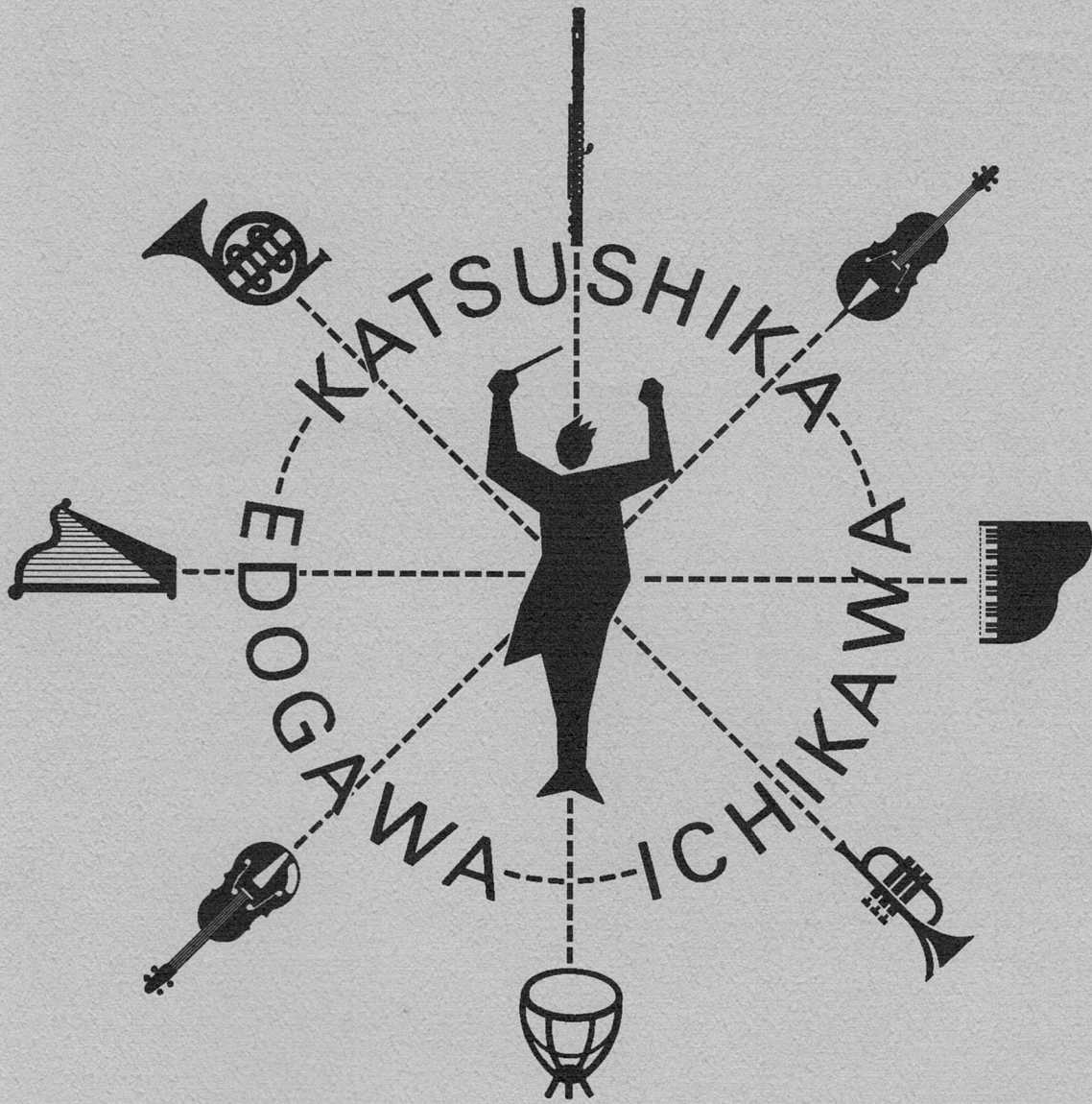


# RIVERSIDE ORCHESTRA FESTIVAL



## リバーサイド・オーケストラ フェスティバル'95

'95年3月26日(日) 14:00開場14:30開演

# RIVERSIDE ORCHESTRAL FESTIVAL '95



## ごあいさつ

本日は「リバーサイド・オーケストラ・フェスティバル'95」に、ご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

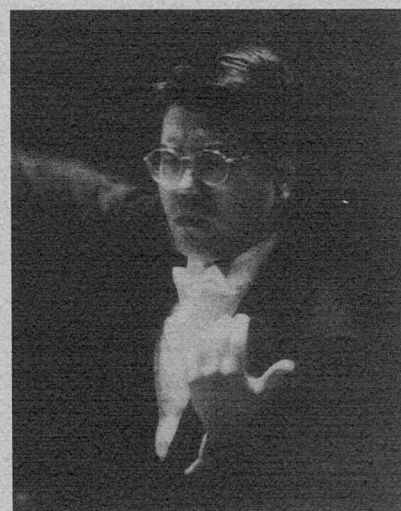
このフェスティバルは、当財団が呼び掛けをし結成した、『葛飾フィルハーモニー管弦楽団』と葛飾区の近隣区市で同じように活躍しているアマチュアオーケストラとが演奏会を通して交流を深め、各オーケストラの技術向上と地域文化の発展を目的として、昨年3月に、第1回の合同演奏会を行い、区内外の皆様にご好評をいただきました。

本年もリバーサイドの由来となった江戸川沿いで、市川に拠点を置き千葉県内で最も歴史のある『市川交響楽団』、そして1985年の結成以来、定期演奏会や各種協演会などで活発な活動を行っている『江戸川フィルハーモニーオーケストラ』を迎え、昨年にも増して、各団員の心・技・体に磨きをかけ、マーラーの『巨人』とバッハの『シャコンヌ』に取り組みました。

ご来場の皆様には、どうか各オーケストラの熱演をお楽しみいただきますとともに、今後も暖かいご支援を送ってくださいますようお願いいたします。

最後に、事前の準備にご尽力いただいた各楽団役員をはじめ、後援いただいた各区市に厚く御礼申し上げます。

## 指揮者プロフィール



## 江原 功

Isao Ehara

1983年、桐朋学園大学入学。指揮を秋山和慶、小澤征爾、堤俊作の各氏に、室内楽を故P. ロジェ、K. ライスターの両氏に、管弦楽のオーケストラ奏法を中川良平氏に師事。

1987年同大学音楽学部卒業、1989年同大学研究科終了。同年11月、作曲家入野義朗氏を記念した現代音楽のコンサートでP. ブレーズ氏により創設されたIRCAM所属の作曲家コート・リッピ氏の作品の初演を指導。

1990年6月、石丸寛氏と共にBNSゴールドブレンド・オーケストラを指揮。同年10月、ニューヨーク・シティ・バレエ団のメンバーによる日本公演を指揮してバレエ界にデビュー、その後、山本禮子バレエ団の「白鳥の湖」、貞松・浜田バレエ団の「胡桃割り人形」両公演を指揮。同年より放送されているNHKスペシャル印象派の殿堂「オルセー美術館」、「正倉院」、「プラド美術館」の音楽は氏の指揮によるものである。

1992年2月、早稲田大学交響楽団のワールドツアーのリスボン、ジュネーブ、チューリッヒ、シュツットガルト公演を指揮。

1993年9月、ヴァイオリンの宗倫匡氏と共演。同年10月より、ユニークバレエシアターの音楽監督を務める。

現在、演奏活動の他に、作曲家故入野義朗氏により創立されたJLM音楽事務所では指揮講座を受け持つ。

1994年7月より、葛飾フィルハーモニー管弦楽団の指揮者として、精力的に指導に当たっている。

# 演奏曲目

J. S. バッハ

## 『シャコンヌ』ニールセン編

指揮／江原 功

3オーケストラ合同演奏

G. マーラー

## 交響曲第一番『巨人』

I. Langsam, Schleppend-Im Anfang sehr gemächlich

II. Kräftig bewegt, doch nicht zu schnell

III. Feierlich und gemessen, ohne zu schleppen

IV. Stürmisch bewegt

指揮／江原 功

3オーケストラ合同演奏

### 出演者

#### Violin

朝日千香子(葛)  
荒川 奈月(◇)  
石井 久雄(市)  
市東 洋子(江)  
裏 俊男(葛)  
大谷 幹子(◇)  
小川有美子(江)  
北島 幸子(葛)  
佐藤 欣三(◇)  
柴 貴子(◇)  
鈴木 薫(市)  
鈴木 淳子(◇)  
須永 恒雄(◇)  
高橋あき子(葛)  
田上 典子(◇)  
堤 哲児(市)  
東間ゆりか(葛)  
中西 文男(◇)  
根守 弘和(市)  
萩原沙和子(◇)  
久田しげ子(◇)  
平野 洋子(江)  
橋本比佐美(◇)  
初川 志乃(◇)

福永 奈々(◇)  
松延 裕子(市)  
宮川 正雪(賛助)  
柳河みちこ(江)  
山口眞津子(◇)  
山田 泉(◇)  
横田佐貴絵(市)  
横田富美子(◇)  
吉岡 千鶴(葛)  
渡辺千恵子(市)

#### Viola

可香谷尚三(江)  
関原 佑子(◇)  
高橋 行継(市)  
沼田 美恵(葛)  
平山 顕(◇)  
藤沼 泰雄(◇)  
星 乘昭(市)  
水野 桃子(◇)  
水野 由里(葛)  
村上 賢一(市)  
横田 行雄(◇)  
若林 繁(◇)

#### Violincello

池田 寛之(市)  
大中 節子(江)  
川崎 義人(◇)  
倉沢 由和(市)  
竹前 英子(江)  
沈 静沈(市)

戸鹿里政行(葛)  
福原 耕二(市)  
宮越 肇(葛)

#### Contrabass

石橋 俊一(葛)  
伊藤 智深(◇)  
菊池 克彦(市)  
小池貴美子(葛)  
佐藤 猛(江)  
嶋田登代治(葛)  
前中 恭子(◇)  
宮本 彰(葛)  
村上 信乃(市)  
山本 広和(葛)  
吉田 秀(賛助)  
李 隆子(市)

#### Flute

木村眞諭紀(市)  
小池 聡子(葛)  
佐藤 洋行(市)  
三輪 弦子(江)

#### Oboe

大坪 昌彦(市)  
大山 明子(葛)  
嶋谷 賢治(◇)  
鈴木 宏子(市)  
米内 久美(江)

#### Clarinet

浅沼 幹生(江)  
家木真一郎(◇)  
一瀬 直美(市)  
森 由美子(葛)  
吉野 智久(市)

#### Bassoon

海老沢明子(葛)  
金坂 哲(市)  
西村 周作(葛)  
原口 忠博(江)

#### Horn

近藤 利昭(市)  
嶋村 恒夫(葛)  
須賀 良江(◇)  
浪上 晴雄(江)  
穂苅 純一(◇)  
藤井 茂司(市)  
山本 恭子(◇)

#### Trumpet

安藤 宣明(市)  
新井本昌宏(◇)  
小園 泰宏(江)  
柳田 光宏(葛)

#### Trombone

井上裕美子(葛)  
梶谷 妙絵(市)  
桑 秀樹(◇)  
豊仲 修(江)

#### Tuba

久保 継成(葛)

#### Percussion

青木佳奈恵(葛)  
岩橋 正治(市)  
木村 憲子(◇)  
阪口 雄二(葛)  
瀬川 順子(市)

#### Harp

篠原 英子(賛助)

リバーサイド・オーケストラ・フェスティバル実行委員  
横田 行雄、時田 雄(市響)  
竹内 正男、古屋 文弘(江戸フィル)  
森田 整、宮本 彰、東間ゆりか(葛フィル)

## 曲目解説

### 『シャコンヌ』 ニールセン編 J.S.バッハ

演奏家としてのバッハは、オルガニストとして、もう一つ、ヴァイオリニストとしての二つの顔を持っています。バッハがヴァイオリンの奏法に精通していたことを証明する代表的なものに「無伴奏ヴァイオリンのための三つのソナタと三つのパルティータ」があげられます。この中で最も有名な曲、第四曲「パルティータ第二番」の第五楽章が「シャコンヌ」です。

シャコンヌとは本来、メキシコからスペインに渡った舞曲で、3拍子の荘重なリズムを特徴としています。冒頭8小節に見られる、威厳に満ちた重音奏法の主題があり、このパターンが30回繰り返されるなかで多彩な奏法が展開されます。

本日演奏いたします曲は、デンマークの作曲家C. ニールセンが室内楽曲に編曲したものです。

### 交響曲第一番『巨人』 G.マーラー

この交響曲第一番は「巨人」という標題がついていますが、これは曲のスケールのことではなく、ドイツ・ロマン派の作家ジャン・パウルの同名の「巨人」という小説よりとったものです。マーラーが、恋した歌手ハンナ・リヒターと結ばれなかった苦い思い出から作曲されたと言われてます。

第一楽章は「ゆるやかに重々しく」と指定された序奏で始まります。冒頭のオーボエとファゴットが奏でる四度下降の動機は、この楽章だけではなく、全曲の主要な動機や主題を形成しています。「力強く運動して」と指示されている第二楽章は、農民舞曲風の牧歌的なスケルツォです。第三楽章は「緩慢なことなく、荘重に威厳をもって」と書かれています。第二楽章とは一転して、悲しさを感じさせる葬送行進曲です。第四楽章は「嵐のように運動して」という指示があるように、強烈で情熱的に全楽器で始まります。そして、エネルギッシュにクライマックスを迎えます。

# 市川交響楽団

市響40周年記念  
日中交流交響楽コンサート

市川交響楽団は昭和26年(1951年)に創立した、千葉県内で最も歴史のあるアマチュアオーケストラです。

今年で創立44年を数え、現在の団員数は118名。会社員、医師、教員、自営業などいろいろな職業の方が参加しています。

ふだんの活動は千葉県の西の端、市川市で行っていますが、機会あるごとに青少年芸術教室、移動公演などで千葉県内各地での演奏会を行っています。

これまでの演奏会には、安川加寿子・深沢亮子(以上ピアノ)、前橋汀子・漆原啓子(以上ヴァイオリン)、堤剛(チェロ)、外山雄三(指揮)ほか多くの音楽家を迎え、好評を博しました。

また、兄弟団体である市川混声合唱団、行徳混成合唱団とともに、ベートーヴェン「交響曲第9番・合唱付き」、モーツァルト「レクイエム」、「オペラ・魔笛」などの公演も行っています。

# 江戸川フィルハーモニーオーケストラ

第7回 江戸川フィルハーモニーオーケストラ  
定期演奏会



江戸川フィルハーモニーオーケストラ(略称:江戸フィル)は、1985年11月に区内在住・在勤の音楽関係者を中心として結成され、同年12月、江戸川区音楽祭においてチャイコフスキー:『胡桃割り人形』の演奏で、足跡の第一歩を踏み出しました。

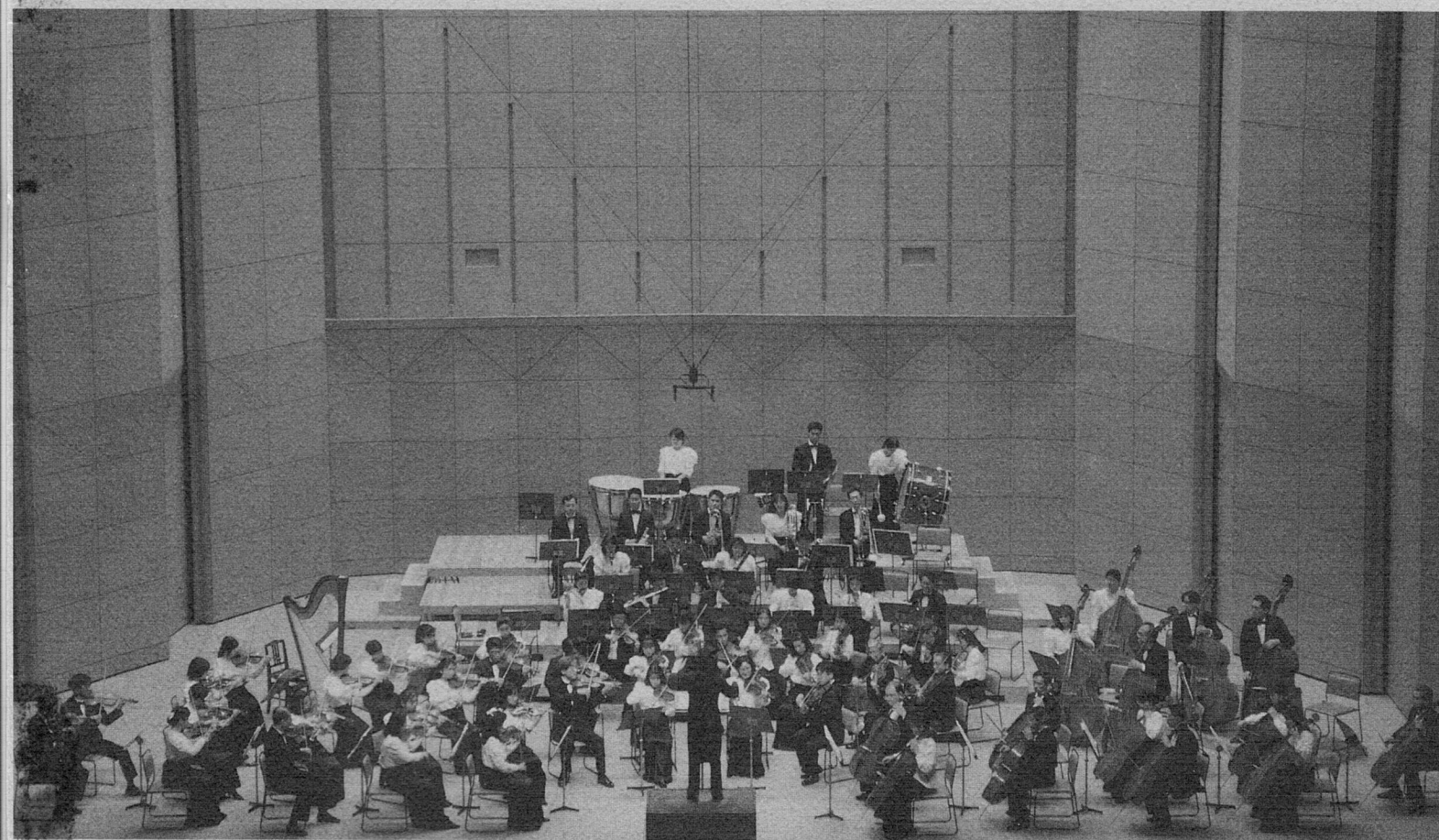
翌86年9月には、故山田一雄氏の指揮で第一回定期演奏会を開催し、その後も毎年著名な指揮者・ソリストを迎えて定期演奏会を開催しています。

また、一昨年は「区民による第九を歌う会」が結成され、大町陽一郎氏の指揮でベートーヴェン・第九に取り組み、大好評を博しました。

現在は、定期演奏会をはじめ、フレッシュコンサート、親子コンサート、江戸川音楽祭、その他区の行事への参加等、幅広く活動しています。

オーケストラ自体も新しく、またメンバーも若い人が多いせいか、夏の山中湖で行う合宿では即席編成のアンサンブルで大いに盛り上がり、忘年会では各パートごとの大カラオケ大会となる、和気あいあいとしたオーケストラです。

# 葛飾フィルハーモニー管弦楽団



葛飾フィルハーモニー管弦楽団は、1990年11月に葛飾区文化振興財団の呼び掛けに応じて、区民の音楽愛好者が集まって結成されました。一年半の練習と活動を経て、92年春に念願のかつしかシンフォニーヒルズのオープニング記念演奏会を開催。

当団は設立当初から、顧問の澤和樹氏(東京芸術大学助教授)をはじめとする優秀な指導陣に恵まれて、現在はシンフォニーヒルズを活動拠点として、毎週楽しくも厳しい練習を重ねています。

93年に、葛飾区民合唱団のデビューコンサートで「メサイア」を公演、94年6月にはJR東京駅・エキコンに出演し、大好評を博しました。

まだ歴史の浅いオーケストラですが、年2回の定期演奏会のほかにも、地域の福祉施設への訪問演奏会など意欲的に活動の幅を広げており、「わがまちのオーケストラ」として、より一層区民に親しまれるよう願っています。